のについて

やさしい日本語（JP）

３５２８（）

、　では　を　することと　おいする　を　めました。

の　は、　６２０（）までです。　これまで　みなさんに　おいしていたことを　きき　おいします。

**の　みなさんへの　おい】**

○が　ないときは　に　ないように　してください。
に　２０からは　に　ないように　してください。
また、　が　ないときは　のへ　かないように　してください。

しく　のに　なったは　なく　なっていますが、　そのうち　のが　い　した　の　に　なったが　９０％なので、　いうちに　また　が　がるかもしれません。

へ　るときは　に　なのか　もう　えて、　をもって　してください。

**などへの　おい】**

○などは、　きき、　おをしたり　をったり　することは　１　やめてください。　「おをむ」　または　「おをけるのを　５～２０の」に　してください。
　おさんが　おを　おに　ちむことができる　も　おを　みにしてください。

○してくれた　は　が　もらえます。

での　を　するため、　、　おいに　じない　にして、　を　っています。　おいに　じない　には、　（を　くして　みなさんの　を　る　）による　「」を　するかもしれません。　そうならないよう、　みなさん　ごを　おいします。

**【がまる　への　おい】**

○の　・の　の　（が　そのに　ること）の　は　のとおりです。

に　るのを　やめることや、　へ　おをくを　くするように　おいした　の　・曜日（424,25）と　べました。

　、のまわりは、　く　おいするごとに　は　っています。　をっているの　は、　のに　が　えましたが、　に　おを　むよう　おいしたは、　が　とてもっています。　これは、　「の　りので　をっている」の　りでも　じきでした。

してくれている　おのみなさん　ありがとうございます

○しく　の　に　なるを　らすためには、　を　らすことが　です。　きき、　１，０００をえていて　をっている　などは、　になものを　っている、　・に　おを　みにすることや、　は　おを　けているを　２０までにすることを　おいします。

そのの１，０００をえる　がまる（や　、　など）は、　おを　けているを　２０までとします。
のときは　２１までとして、　を　してください。

○なお、　１，０００をえる　、　、　へ　・に　おを　みにするように　おいすることは、　６１から　やめることに　なりました。

○してくれた　は、　が　もらえます。

**【へ　くこと　など】**

○の　みなさんは、　へ　くのを　７０％　らすことを　して、　で　することや　からすすんで　みをることなどを　してください。へ　くときは、　とが　　ことを　なくするような　みを　おいします。

**【の】**

○では、　しく　の　になるが　っていますが、　1200くらいと、　の　になったが　くいます。
　また、　のを　っているは、　５２７で、　67.9％となっており、　たい　のが　を　っているは、　５２７で47.6％となっています。

などのに　えるが　くなっています。　また、　しく　の　に　なったのうち、　のが　い　した　の　に　なったが　９０％なので、　いうちに　また　が　がるかもしれません。

**【の】**

○を　やめることについては、　　「」くらいかどうかを　みて、　に　されます。　さらに、　のが　い　した　の　が　ひろがっていることを　えながら、　「」に　に　かっているかどうかも　して、　しながら　めることが　です。

しく　の　になると　のを　いるを、に　しながら　るがあります。

で　「」のというのは、　「しく　の　になるの　が　1１８０　というが　１　くこと」と、「のを　っているが　５０％より　ないこと」です。

「」は、「しく　の　になるの　が　１１００　というが　1　くこと」と「のを　っているが　２０％より　ないこと」です。

「」に　に　かっていることを　しっかりと　したうえで、のを　いて、　めたいと　います。

が　わったときに　「てわり」　ではなく、　が　がらないことが　できるまでは　が　ふたたび　がることを　ぐため、　みなさんに　が　がらないための　おいをしながら、　しずつ　のに　していく　があると　えています。

**【の】**

○の　に　なったを　けれるための　の　のは、　４１９の　８０２から　えていっています。
　、　しく　48を　し、　の　のは　1,346となりました。　そのうち、　たい　ののための　は　172となっています。

は、　、　に　（157）を　し、　で　９、1,891と　なりました。

のについては、　きき、　のに　えて、　1,480のをし、　については、　2,000の　を　していきます。

**【をするへの】**

○　2,700の　に　なっている、　をしているへ、　しくや　にする　を　います。

まず、の　については、　６１から、　などを　で　します。　をしているのうち、　の　が　しいへ、　のや　、　、　などの　を　します。

○の　については、　をしているので　「のになるから　のに　なっているなど、　に　が　な」や　「に　がなく　に　していない」へ、　　の　、　が　の　いところを　に　し　を　すすめます。　こちらも、　６１から　めるです。

また、　をしているで、　が　できない　のや　のに、　が　、　が　れているように　じたりするなどの　が　たときに、　をけることや　がる　の　を　する　の　を　します。　をして　できるだけ　く　したいと　えています。

**【について】**

○では、　３１に　の　に　を　いて、　で　いているや　への　をする　を　してきました。　５２１には、　のなど　くが　るようにするため、　１６で　に　りんでいます。

これからも、　の　みなさんの　を　く　めていく　があります。　６１に、　しく　「」を　いて、　25で、　で　できるや　できるなどについて、　えていきます。

を　しっかりとい、　が　ふたたび　がらないように　していきます。　のみなさんと　のみなさん、　ごと　ごを　おいします。